

1 調査事件

民生福祉、保健行政及び教育行政の充実について

2 調査概要

(1) 明石市（人口 298,399人）

ア 待機児童の解消について

明石市では、平成27年12月に明石市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、こども、文化を核として人口30万「未来中核都市」に向けたまちづくりを進めており、特に喫緊の重要課題である待機児童の解消に取り組むため、平成28年1月に待機児童緊急対策室を設置した。

同室では、児童の受け入れ枠拡大を行う施設整備による「量の確保」と、保育士の確保・定着、保育士向け研修の充実による「質の確保」の2本の柱を軸とした取り組み方針を掲げている。具体的には、量の確保のため、①保育所、認定こども園、小規模保育所などの施設整備に市独自の整備補助金の上乗せ補助を行うことによる法人負担の半減、②一定の要件を満たす企業主導型保育事業所への市独自の補助金の交付、③待機児童が多い地域における市有地を活用した認可保育所の整備、④市立幼稚園での預かり保育事業の拡充や3歳児保育の実施などを行っている。また、質の確保のため、①保育士の就労・復職支援を行う保育士総合サポートセンターの開設、②保育士就労希望者向けの私立保育所等見学バスツアーや保育士就職フェアの開催、③保育士の処遇改善を実施した私立保育所等への月額給与増額分の2分の1（限度額10,000円）の助成や採用後の経過年数に応じた保育士定着支援金の充実、④市内の保育施設に就労中または就労予定の保育士の児童を優先的に市内の保育所へ入所できるような選考基準の見直しなどを行い、保育士の定着に努めている。また、施設長や新人保育士には研修を各年2回実施し、技能・経験を積んだ職員にはキャリアアップ研修を行うなど、保育士向け研修の充実も行っている。

これらの取り組みにより、平成28年4月の認可保育所の定員が4,410人であったのに対して、平成31年4月には7,971人まで拡大し、3年間で約3,750人の児童の受け入れ枠の拡大を行った。しかしながら、出生数・転入による就学前児童数が予想を上回るペースで増加したことや児童の受け入れ枠の増加による需要喚起などにより、待機児童は年々増加し、平成30年4月には待機児童数が571人まで増えたものの、平成31年4月は8年ぶりに待機児童数が減少に転じ412人となっている。

今後は、令和元年度は1,200人規模の児童の受け入れ枠の拡充を目指すとともに令和2年度以降も第2期子ども・子育て支援事業計画に今後の整備計画を盛り込み、さらに取り組みを進めていく方針である。

イ 学校給食センターの活用について

明石市は、平成28年6月に西部給食センターを、平成30年1月に東部給食センターを整備し、平成30年4月から全中学校への学校給食を開始した。この全中学校給食開始を契機に、支援を必要とする市民に温かい食事を届け、地域による見守りや支え合いの新たな機会の確保を目的とするパイロット事業として、ひとり暮らし高齢者等を対象に高齢者昼食事業みんなの給食を平成30年9月25日から実施している。

みんなの給食は、学校給食を実施する中学校区域内に居住する65歳以上のひとり暮らし高齢者を対象とし、定員は40名、開催日は夏休み等学校が長期休業期間中を除き、月2回程度としている。申し込み方法は、給食提供を実施するコミュニティ・センターへの電話予約となっており、参加料は1人1回400円、当日会場で支払うこととしている。また、会場の運営については、業務委託により実施しており、委託料は1回につき、1万円（一部1万2,000円）としている。実施状況等については、平成30年度は開催回数44回、参加者数488人、平均参加者数11.1人であり、令和元年度は7月までの開催回数が16回、参加者数152人、平均参加者数9.5人である。

今後の課題として、食中毒が発生した場合、中学校給食が中止になるため食品等の持ち込み・持ち帰りを不可としているが、このことにより自由な運営ができないこと、会場となるコミュニティ・センターが中学校内に設置されており、駐車場の確保ができず、自家用車の利用ができないこと、全体的に参加者が少なく、中でも男性の参加者が少ないことが挙げられており、参加者数の増加を図るため、今年度から参加希望者には当日でも受け付けを行うなどの対応を行っている。

(2) 高槻市（人口 351,741人）

ア 高槻市ますます元気！健幸ポイント事業について

高槻市では、高齢者の生きがいの推進、社会参加の促進、介護予防を目的に平成26年度から高槻市ますます元気！健幸ポイント事業を実施している。

健幸ポイント事業は、高槻市内在住の65歳以上の高齢者を対象とし、

健幸パスポートの申請者に対し、市が実施する健診や介護予防事業、生涯学習に参加した場合にポイントを付与するもので、一定のポイントを達成したときには、Tシャツやタオルなど記念品の交換や民間保育施設への寄付が可能となっている。

この事業の開始時点では、当初、高槻市のオリジナル介護予防体操である「高槻ますます元気体操」の普及啓発に力を入れており、体操の普及啓発に合わせて、市民に健康づくりや介護予防の活動により興味を持ってほしいという考えがあった。

事業の取り組みとして、目標である1万人の参加を達成するため、広報紙やホームページへの掲載、保健所や老人福祉センター、医療機関等関係機関の窓口でのポスター掲示、チラシの配架などを行っている。また、高槻ますます元気体操の自主グループ活動を行っている市民は、本事業のポイント付与対象者となるため、積極的な周知を行っている。平成30年度は、市政施行75周年、中核市移行55周年を記念し、記念品に姉妹都市である島根県益田市の特産物や福井県若狭町への1泊2日ツアーを盛り込むなど参加者を飽きさせない工夫を行っている。参加者は平成30年度で6,734人、ポイント交換の申請者は3,023人であり、事業開始の平成26年度の参加者約5,600人と比較すると徐々に増加している。また、民間保育施設への寄付については約20万円で、絵本や玩具、植物や生き物の購入に充てられている。

本事業の効果として、参加者より健幸パスポートを持つことにより楽しくポイントを収集することができ、介護予防や健康増進に主体的かつ継続的に取り組むことができたという声が寄せられることから、健康寿命の延伸と介護予防の面において効果を上げている。また、参加者に実施したアンケート結果では、体調がよくなった、生活習慣がかわった、外出の機会がふえ、前向きになったなどの声も寄せられていることから、高齢者の生きがいづくりにおいても、一定の効果を上げている。

今後の課題として、特に男性の参加者が少ないことが挙げられており、参加者の増加に向け、前期高齢者など新しい層の取り込みが必須であり、早いうちから介護予防に取り組む動機づけとなるような事業設計が必要である。

イ 高槻子ども未来館について

高槻市は、高槻保育所の老朽化に伴う移転に加え、子育て支援施策の拡充を目的に、就学前の子どもたちに対する様々な施策の発信拠点の整備を

図るため、平成31年4月1日高槻子ども未来館を開館した。

施設は地上3階建てであり、1階に定員190名の高槻認定こども園を備え、園児に対する教育・保育活動を初め、公立で初となる病児保育や休日・一時預かりなどの多様な保育事業を展開している。2階に子ども保健センター及び子育て世代包括支援センターを配置し、妊娠・出産・育児の総合相談窓口や乳幼児健康診査、予防接種など妊娠から出産、育児まで切れ目ない支援を行っている。3階に子育て支援人材育成施設を配置し、質の高い保育の担い手の育成を行うため、研修室や会議室等を備えている。

なお、病児保育において、事前の予約時は児童が体調不良であったが当日には体調が回復し、または保護者が職場の休みをとれたなどの理由により急遽キャンセルになった際、配置した保育士をどうするのか、3階の子育て支援人材育成施設に研修室や会議室等を備えているが、現在稼働率が低く、今後どのように稼働率を上げていくかなどの課題がある。

(3) 寝屋川市（人口 232,289人）

ア 寝屋川市立子育てリフレッシュ館（RELATTO）について

寝屋川市は、子どもや保護者がリフレッシュでき、なおかつ子どもを安心して生み育てることができる環境の整備として、平成30年7月21日に寝屋川市立子育てリフレッシュ館（RELATTO）を開館した。施設は、地上3階建てであり、1階にキッズ・スマイル・パーク&カフェとして、6万個のボールプールや固まる砂を用いた砂場などの遊具や0歳から2歳用のベビーゾーンを備えており、雨天時も子どもたちが思い切り遊べるフロアとなっている。2階に一時預かりの保育ルーム、子育て世代包括支援センターを配置しており、妊娠、出産、子育て期にわたって継続的な支援を行っている。3階にセミナールームやクッキングルームなどを配置し、ヨガレッスンやクッキング講座など保護者がリフレッシュできるようなさまざまな講座を開催している。本施設は、施設の利用者を各階に誘導するような構造となっていることから、利用者が複数のフロアを利用する好循環が施設全体の利用率を底上げしており、開館から1年間の利用者数は4万9,088人となった。

今後の課題として、平日の利用者数が少ないこと、施設の鮮度を維持し続けるため、子育て世代のニーズやトレンドをつかんでいくことなどが挙げられ、課題解決に向け、京阪電車1編成8車両内の広告を全て寝屋川市立子育てリフレッシュ館にするなどの情報発信や、SNSを利用する保護者向けSNS用の撮影ブースの施設内設置などの取り組みを進めている。